2026 年度 第 7 回サンマ中短期漁況予報(抜粋)

令 和 8 年 11 月 13 日
福島県水産海洋研究センター

一般社団法人 漁業情報サービスセンターより、11 月 9 日に「2026 年度第 7 回サンマ中短期漁況予報」が発表されましたので、概要をお知らせします。

1. 今後の見通し

予測期間：2026 年 11 月中旬～12 月下旬　　対象漁業：さんま棒受網漁業
対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域　　対象魚群：南下回遊群

（1）来遊量

道東海域

11 月中旬は断続的となり、終漁。

三陸海域

11 月中旬～12 月上旬は低位水準で推移。
12 月中～下旬は断続的。

常磐海域

11 月中旬～12 月上旬は低位水準で推移。
12 月中～下旬は断続的

（2）漁場

道東海域　漁場形成はない。

三陸海域　11 月中旬～12 月上旬は三陸南部。
12 月中～下旬の漁場形成はない。

常磐海域　11 月中旬～12 月中旬は常磐北部～南部。
12 月下旬の漁場形成はない。

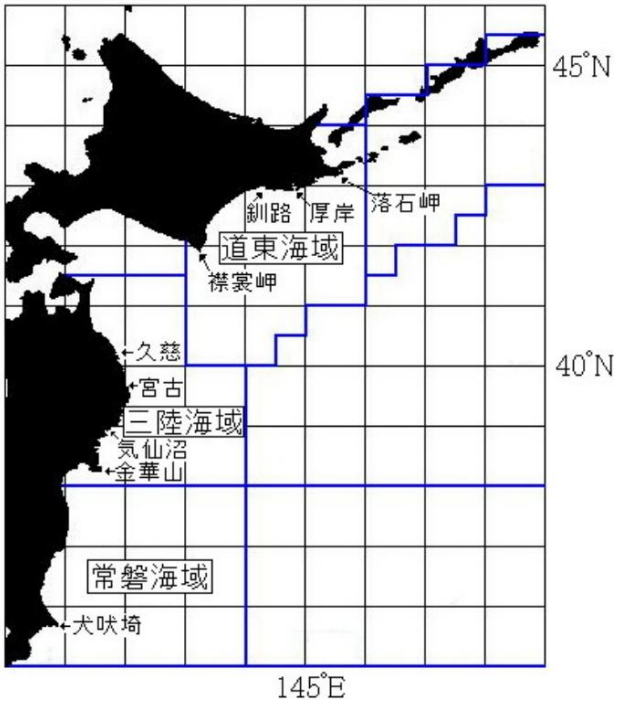


図 1　海域の名称

2. 漁況経過概要（10 月下旬）

（1）来遊量

道東海域では 10 月中旬より減少した。
三陸海域では 10 月中旬並みで、前年を下回り低位水準。

（2）漁場

道東海域では形成はなく、主漁場は道東より南東側。落石南東～南南東沖 180～240 海里での大型船の漁獲量は平均 1.3 トン、最高 6 トン。

三陸海域では大船渡沖に形成され、大船渡東～東北東沖 15～90 海里での大型船の漁獲量は平均 0.3 トン、最高 0.8 トン。主漁場は三陸海域より北側の恵山岬東沖 15～35 海里で、大型船の漁獲量は平均 16.9 トン、最高 36 トン。

（3）魚体

道東海域より南東側では、体長 24～30cm、体重 50～110g が主体
三陸海域では体長 20～29cm、体重が 30～100g が主体。
三陸海域より北側では体長 19～26cm、体重 30～90g が主体。

※詳細については下記の HP をご参照下ください(一般社団法人 漁業情報サービスセンター プレスリリース)。
https://www.jafic.or.jp/information/2026/11/09/post-5/